

提言のとりまとめの方向性

1. 提言のとりまとめの方向性
2. 本日議論いただきたい事項
3. 今後の進め方について
4. 検討会(ワーキンググループ)について

特命推進課
令和4年9月14日

1. 提言のとりまとめの方向性

提言書のとりまとめにあたっては、次の方向性とする。

- ①中間報告の内容をもとに令和4年度の意見を反映させる。
- ②関係施策をもとに「ビジョン(将来像)」達成の実現性を高める内容とする。
- ③具体的な事例やヒアリング内容をもとに中間報告の提案内容をより具体的な内容とする。
- ④実効性を高めるため、各種取組を一体的・戦略的に推進するために必要な事項を盛り込む。

「琉球文化ルネサンスのビジョン(将来像)」

- ・ 県民一人ひとりが地域の歴史・文化への理解を深め、先人達から継承されてきた伝統のすばらしさを実感し、自信と誇りを持つ。
- ・ 日々の生活の中で琉球文化に親しみ、感動や共感を育むとともに、その魅力を国内外に広めていく。
- ・ 琉球文化が、観光・産業・教育などの様々な分野と結びつき、新たな価値や魅力を創出することにより、生活と経済の好循環を生み出す。

中間報告

- (1)琉球文化を一体的にとらえた戦略的取組の必要性
 - (2)個別取組の方向性
- 提案①持続可能な仕組みづくり
提案②文化的価値の普及・啓発
提案③新たな価値(魅力)の創出

委員意見

(令和3年度+令和4年度)

より具体的で実現性のある提言をとりまとめる。

より具体的な提案内容

- ・ 事例整理(ヒアリング等)
- ・ 現状確認
- ・ 県内動向
- ・ 先進事例 など

「琉球文化ルネサンス」に関する万国津梁会議の提言

2. 本日議論いただきたい事項

- 本日の調査結果の報告を踏まえ、次回会議において提言書の骨子（案）を提示するにあたり、以下の2点について、ご意見をいただきたい。

(1) 中間報告の内容に追加、修正が必要な視点、項目など

※ 次頁の「【参考】提言の枠組み(イメージ案)」を参照
(例えば・・・)

- ・提言において、「特に重要なポイント」となる視点や項目を設ける
- ・「地域文化」と「生業としての芸能・工芸」など課題が異なる分野については、それぞれに対応した提言をまとめる など

(2) 一体的・戦略的に推進するために議論が必要な項目

(例) ・関係する具体的なセクター(県、市町村など)

- ・プレイヤー(事業者、県民、海外のウチナーンチュなど)
- ・連携するための取組、財源の確保 など

【参考】提言書の枠組み(イメージ案)

中間報告

琉球文化を一体的にとらえた戦略的取組の必要性

提案①持続可能な仕組みづくり

- ・トータルプロデュース的な視点を持った一体的取組の推進
- ・行政、民間企業、高等教育機関等を含めたステークホルダーが連携し、協働する仕組みづくり
- ・文化活動を支える民間企業への共感を広げ、支援する取組

提案②文化的価値の普及・啓発

- ・文化体験や継承活動の機会の創出による本質的価値の普及・啓発
- ・教育機関や企業などと連携した歴史・文化を学ぶ機会の充実
- ・関係機関の連携による文化情報の効果的な発信

提案③新たな価値(魅力)の創出

- ・伝統文化を継承しながら、時代のニーズに沿った新たな価値や魅力の創出
- ・観光など異なる分野との連携、工芸と芸能など伝統文化間の連携による取組
- ・最新デジタル技術を活用した取組の推進

最終提言書の枠組み(イメージ案)

とりまとめの項目(案)

持続可能な仕組みづくり

文化的価値の普及・啓発

新たな価値(魅力)の創出

調査結果から追加した視点・項目

専門人材の育成と普及

歴史・文化教育との連携

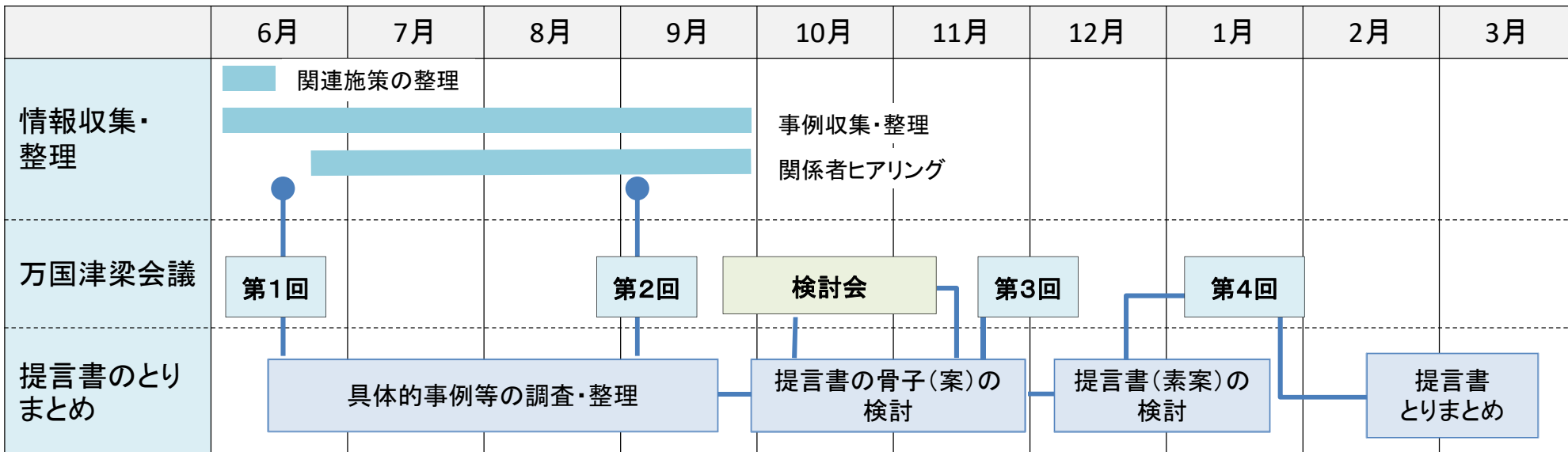
地域文化の継承

具体的な取組案や事例を提言に盛り込む予定
【例】人材バンク、地域文化の実態調査、教材化・カリキュラム化に必要な支援 など

琉球文化を一体的にとらえ
戦略的に進めるための提言
(関係機関の役割・連携体制・財源等)

検討会にて確認・検討

3. 今後の進め方について



No.	回	開催月	議論テーマ、検討事項(予定)
1	第1回会議	6月9日	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の会議の進め方について/県の関連施策の状況について 具体的な事例検討の方向性について
2	第2回会議	9月14日 ※本会議	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事例の検討状況 提言のとりまとめに向けた方向性について
3	検討会	10~11月頃	<ul style="list-style-type: none"> 提言書の骨子(案)の検討 (重点テーマ)提言内容を戦略的に推進するための取組
4	第3回会議	11月頃	<ul style="list-style-type: none"> 提言書の骨子(案)について
5	第4回会議	令和5年 1月頃	<ul style="list-style-type: none"> 提言書(素案)について

※会議スケジュール、検討事項などについては、議論していく内容に応じて変更する可能性があります。

4. 検討会(ワーキンググループ)について

- 万国津梁会議の委員や特定分野に関する関係者によるワーキンググループでの検討内容を会議での議論にフィードバックする。

1 議題	<ul style="list-style-type: none">● 提言書の枠組み・骨子(案)● 各取組を一体的・戦略的に推進して行くための提言(案)● 琉球文化ルネサンスを実現するための具体的な提言
2 メンバー	<ul style="list-style-type: none">● 提言のとりまとめ作業に直接、関わっていただける委員。● 必要に応じて外部の専門家を招聘し、意見をうかがう。● 検討会(ワーキンググループ)には事務局も関わって検討を行う。
3 開催方法・頻度	<ul style="list-style-type: none">● Web会議を含め、2回程度、打ち合わせを開催予定。● その他、必要に応じメール等での資料の調整、意見の聴取を行う。